

5 文参拠第 8 号  
令和 5 年 1 2 月 1 日

行田市 担当部課長 殿

文化庁参事官（文化拠点担当）  
磯野 哲也

日本遺産を通じた地域活性化計画実績報告書及び新たな地域活性化計画  
の審査結果について（通知）

令和 5 年 7 月 1 4 日付け 5 文参拠第 2 号による依頼に対し提出のあった、日本遺産を通じた地域活性化計画実績報告書及び新たな地域活性化計画について、日本遺産審査・評価委員会における審査を経て、別添の『平成 29 年度認定地域 総括評価・継続審査結果』のとおり、貴地域を日本遺産として認定継続（条件付）としますので、通知します。

<本件担当>

文化庁参事官（文化拠点担当）

文化観光振興係 田村、齋間、松本、時友

〒100-8959

東京都千代田区霞が関 3-2-2

TEL : 03-5253-4111（内線 4909）

FAX : 03-6734-3823

E-mail : japan-heritage@mext. go. jp

## 総括評価 概要

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「観光客入込み数」について、目標を達成しておらず、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるものの、それ以前の目標値を達成していない点について、やむを得ない理由等が十分示されていない。</li> </ul>
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「市民意識調査の「足袋の文化」や「足袋蔵」に魅力や誇りを感じる割合」について、目標を達成している。</li> </ul>
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「ふるさと納税の日本遺産活動への寄附額の上昇率」について、目標を達成していない。</li> </ul>
(4) その他	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「利活用、再活用となった足袋蔵等の件数」について、目標を達成している。</li> </ul>
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>

総括評価概要

II. 取組内容に関する評価

		評価理由	評価
(1) 組織整備	個別評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ DMOやNPO法人等との連携体制を構築するとともに、日本遺産に関連する寄附やふるさと納税等による財源確保に努めているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>	可
(2) 戦略立案	個別評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 足袋蔵等の活用に向けたマーケティング調査など基礎的な調査が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>	可
(3) 人材育成	個別評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域プロデューサー等が一定数存在するとともに、ガイド養成講座の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>	可
(4) 整備	個別評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ストーリーを体感するための拠点施設の整備や案内看板等の設置など基礎的な取組が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>	可
(5) 観光事業化	個別評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 足袋蔵の情報を知ることができ行事や商品化など足袋に興味を持ってもらうための基礎的な取組が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>	可
(6) 普及啓発	個別評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 小中学生を対象とした郷土学習、マイ足袋づくり体験・足袋製造見学等による普及啓発を進めており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>	可
(7) 情報編集・発信	個別評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本遺産のウェブサイトや民間事業者による情報発信など基礎的な取組が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>	可
総合評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>	可

日本遺産を通じた地域活性化計画 評価概要

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 足袋蔵の再生・活用、活用事業者マッチング、ふるさとづくり基金などストーリーを実現するためのビジョンと取組が計画されている点が評価できる。</li> <li>■ ストーリーの体験についてさらに工夫が求められる。足袋に関するマネタイズと日本遺産全体の自立運営に関する仕組みを整理する必要がある。</li> <li>■ 埼玉古墳群、忍城、足袋蔵それぞれについては一定の方策があるが、日本遺産のストーリーとそれらの関連性を示し、全体としての価値を磨くことが望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業を担うDMOの活動内容が明確となり、この組織を軸に積極的な事業展開が図れる体制となった点が評価できる。</li> <li>■ 商工・観光部門やDMO等との連携意識が弱く事業が偏っていたが、観光部門での経験豊富な人材の確保や多様な団体との連携を強化しようとしている点が評価できる。</li> <li>■ 戦略的・効果的な発信・地域活性化を行う体制として、統括部門の実行力や、各実践部署の連携などに課題があると思われるため、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ HPの多言語化、ストーリー理解につながる解説板やストーリーが実感できるモデルコースと交通の整備など、訪問する観光客目線での整備が必要である。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教育委員会だけが担っていた事業の枠を超え、全庁的な取組体制ができ、またDMOを軸とした事業推進体制と事業が明確となり、今後の活動に期待したい。</li> <li>■ 全体を大きな視点で構想する、プロデューサー的視点が求められる。DMOの収益構造が改善した後の大きなビジョンを可視化すべきである。</li> <li>■ 日本遺産をどのように使いたいのかが不透明であり、日本遺産ストーリーとしてのコンセプトの深化に関する取組など、民間事業者等を巻き込みながら、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>評価結果</p>	<p>認定継続（条件付）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（条件）</li> <li>・ 本評価結果を踏まえ、地域活性化計画を3年間で実行し、候補地域と3年間磨き上げを競い合うこと。</li> <li>・ この実効性を担保するため、3年後の総括評価・継続審査において、日本遺産であることが適当とされた地域の数が、100件程度を超える場合には、認定地域（条件付）または候補地域となった地域について相対評価を行い、上位の地域を日本遺産とすること。</li> </ul>